

第58回日本薬剤師会学術大会



47年振りに京都にかえってきました

大会運営委員長 河上 英治

大会実行委員長 中西 昭人

本年10月12日(日)、13日(月・祝)に、第58回日本薬剤師会学術大会が47年ぶりに京都の国立京都国際会館において開催されます。学術大会実行委員会では大会当日をめざして各部門で多くの委員が日々奮闘していますが、皆様は学術大会が開催されるまでの過程を意識されたことはあまりないのではないのでしょうか。本コーナーでは学術大会が開催されるまでの裏側や想いを毎月ご紹介します。今回は大会運営委員長の河上英治先生にお話を伺います。(聞き手：中西昭人)

— 大会テーマは「そうだ、薬剤師に聞いてみよう！～プロフェッショナルリズムの涵養～」になりました。テーマに込めた想いをお聞かせください

日本薬剤師会（以下、日薬）が示す「薬局」のグランドデザインでは保険調剤だけではなく、OTCなどにも対応してセルフメディケーションを促進する機能が求められています。2025年という節目の年であると同時に47年振りの京都開催だからこそ、改めて学術大会において「そうだ、薬剤師に聞いてみよう！」というメッセージを京都から発信したいと思いました。

— 本大会の見どころをお教えてください

全ての患者が薬のことや健康のことを聞きたいときに、あの薬剤師に聞いてみようと思ってもらえる。そのことを全ての薬剤師が本気で目指すために、5疾患6事業を強く意識したプログラム編成としました。できるだけ現場を具体的にイメージできる構成になるように工夫すると同時に、最先端の知識にも触れることができるようにしています。

— 参加を検討されている方にひとことお願いします

私たちが社会のニーズに応えるためにプロフェッショナルリズムを極める大会として様々な発表を通して学びをさらに深めていただく学術大会にしたいと思います。一方で仲間の薬剤師と交流も楽しんでいただきたいと思います。なお、大会内容のご案内ですが、日本薬剤師会雑誌3月号または日本薬剤師会HP、京都府薬剤師会HPに掲載されている学術大会のバナーをクリックしていただくと、大会ポスターをはじめ、特別記念講演、特別企画、特別講演、特別鼎談の内容をご覧いただけます。皆様を古都京都にお迎えできますよう鋭意準備を進めて参りますので、多数の皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。



大会ホームページ